

令和5年度 都道府県部会 事業報告

1. 活動テーマ

令和5年度地域保健総合推進事業「健康危機管理における保健活動を推進する統括保健師間ネットワーク構築に関する調査事業」への取り組み

2. 目的

統括保健師間ネットワークの実態や成果を明らかにし、全国に発信することで、健康危機管理を含めた保健活動の推進に寄与する。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1~3	令和5年4月7日、10日 5月8日	WEB	【第1~3回 班会議*】出席者：4/7 5人、4/10 11人、5/8 12人 事業概要・計画・倫理審査等
4	6月14日	書面開催	【第1回 部会】出席者：5人 部会活動計画等
5	6月16日	WEB	【第4回 班会議】出席者：15人 インタビュー対象の把握・内容・委託・学会等 (6月：研究倫理審査委員会提出(千葉県立保健医療大学))
6	7月20日	WEB	【第5回 班会議】出席者：11人 インタビュー対象の選定・実施準備
7	8月31日~9月7日	電話調査	【プレ調査】8自治体実施 ネットワークの状況把握 (8月：業者委託契約)
8	9月3日	川崎市立大学	【日本地域看護学会ワークショップ】出席者：7人 インタビュー対象の把握、情報収集 【第6回 班会議】出席者：7人 インタビュー対象の選定、実施準備
9	9月14日	WEB	【第7回 班会議】出席者：14人 インタビュー対象の決定・実施準備、意見交換
10	10月11日~11月16日	対象の所属	【インタビュー調査】8自治体実施 ネットワークの実態、成果等 *実施前後に打合せ
11	11月22日	WEB	【第1回 打合せ】出席者：8人 事業のまとめの方向性(厚労省との意見交換)
12	11月23日	有楽町フォレスト スペース	【第8回 班会議】出席者：10人 インタビュー結果の共有、まとめの方向性
13 ~15	12月21日 令和6年1月16日、30日	WEB	【第2~4回 打合せ】出席者：12/21 4人 1/16 3人 1/30 4人 結果の分析、報告書・概要版の作成、
16 17	12月19日 令和6年1月29日	WEB	【第9・10回 班会議】出席者：12/19 12人 1/29 11人 結果の分析、報告書・概要版の作成、結果の発信
18 19	2月1-8日、25-28日	書面開催	【第11・12回 班会議】出席者：各10人 報告書・概要版の作成
20	3月14日	書面開催	【第2回 部会】出席者：5人 部会活動報告等
21	3月	委託業者	【事業報告書・概要版印刷、発送】

* 班会議：地域保健総合推進事業班会議として開催

〔出席者〕班メンバー：都道府県部会、政令指定都市等部会・市町村部会各1、副会長、学識者

オブザーバー：会長、厚労省

4. 結果・課題

地域保健総合推進事業に取り組み、健康危機管理を含む地域保健活動に寄与する統括保健師間ネットワークを構築している8自治体の統括保健師にインタビューを行った。

その結果、次のネットワークの形態、構築・維持発展の要因、成果、課題が明らかになった。

- ・ ネットワークの形態は、日常的な保健事業の協働や交流から、会議、研修等の公式化定例化したものまで様々であった。
- ・ ネットワーク構築の契機は、統括保健師配置に係る国の通知、市町村からの人員確保の問題提起等であった。
- ・ ネットワークの維持・発展の要因は、会議等の公式化や統括保健師の役割発揮に関わる情報共有・協働など通し、統括保健師自身がネットワークのメリットを実感すること等であった。
- ・ ネットワークの成果には、健康危機発生後に、統括保健師間で迅速に情報共有を行い、協力体制を整えて、速やかに保健師の応援派遣ができたことや、会議等で健康危機管理、人材育成・確保、地域保健活動等の情報共有や検討を行ったことにより、自組織の保健師体制の強化や複数部署協働による事業の展開につながったこと等があった。
- ・ ネットワークに関わる課題には、「地域性に即した保健所設置市を含む市町村間及び都道府県とのネットワークづくり」「次期統括保健師の育成と統括保健師間ネットワークの継承」「統括保健師の役割発揮、関係の持続性のための体制整備（統括保健師補佐の配置・育成、小規模市町村における配置促進など）」など、統括保健師の課題も含まれていた。

今後は、統括保健師間ネットワークの有効性を全国に発信し、その構築を促進することで、地域保健活動の推進の一助とする。また、今回把握された課題については、統括保健師間ネットワーク特別委員会の活動につなげる。

5. 都道府県部会活動の特徴

今年度の活動は、地域保健総合推進事業の実施が中心となった。事業は都道府県部会が主担当であったが、政令指定都市・中核市・特別区部会及び市町村部会のご協力や、会長、副会長、学識経験者、厚生労働省からのご助言も得られた。また、インタビューに快く応じてくださった統括保健師の皆様からは、大変有意義なネットワークの実態と成果について伺うこともできた。本事業について、多くのディスカッションを行い、部会メンバーにとって非常に有意義な活動ができた。

5. 委員

	氏名	所属
○	富岡 順子	神奈川県平塚保健福祉事務所 保健福祉部長
	福田 昭子	山口県長門健康福祉センター 保健環境部主幹
	加藤 孝子	岩手県健康国保課 技術主幹兼地域保健対策特命課長
	濱坂 浩子	福井県丹南健康福祉センター 福祉保健部長
	北林 恭子	福岡県筑紫保健福祉環境事務所 健康増進課長